
送迎車両座席確認支援装置 Safety Alarm (セーフティアラーム)

取付要領書 Ver.3

この度は、当社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
本製品は、最初の取り付けの良否がその後の性能・耐久性及び不具合の有無に大きく影響します。
製品取り付け前に本書をよくお読みの上、作業全体の流れを理解されてから正しく取り付けを行ってください。
記載事項を守らなかった為に発生した不具合に関しては、責任を負いかねますのでご了承ください。



目次

必要工具	P2
注意事項	P3
各装置想定配置図	P4
結線図	P4
構成部品	P5
取付要領	P6
作動確認	P12
部品の復元	P13
施工完了書 兼 報告書	P14
型紙	P15

必要工具

ソケットレンチセット又はスパナセット、ドリル、ドリルφ7、ホルソーφ22、
プラスドライバー、ラジオペンチ、ニッパー、カッター、ハサミ、直尺、ウエス、
ビニールテープ、養生テープ、布テープ、ホワイトガソリン、ポンチ、マジックペン

※最低限の工具となります。車種などにより必要に応じてご用意ください。

◇販売・施工店各位◇

以下の通り、販売・取付時にご周知ください。

本装置はガイドラインに準拠した装置です（認定番号：A-020）。

車外警報においては、車両ホーンに連動する仕様としており車両ホーンとの結線においても断線検知を行っております。

そのため、車両によっては断線検知の判定時

（イグニッションのON/OFFのタイミングにおいてのみ）、短い時間で電流を流すため意図せず一瞬ホーンが鳴動する場合がありますが、異常・故障ではございません。

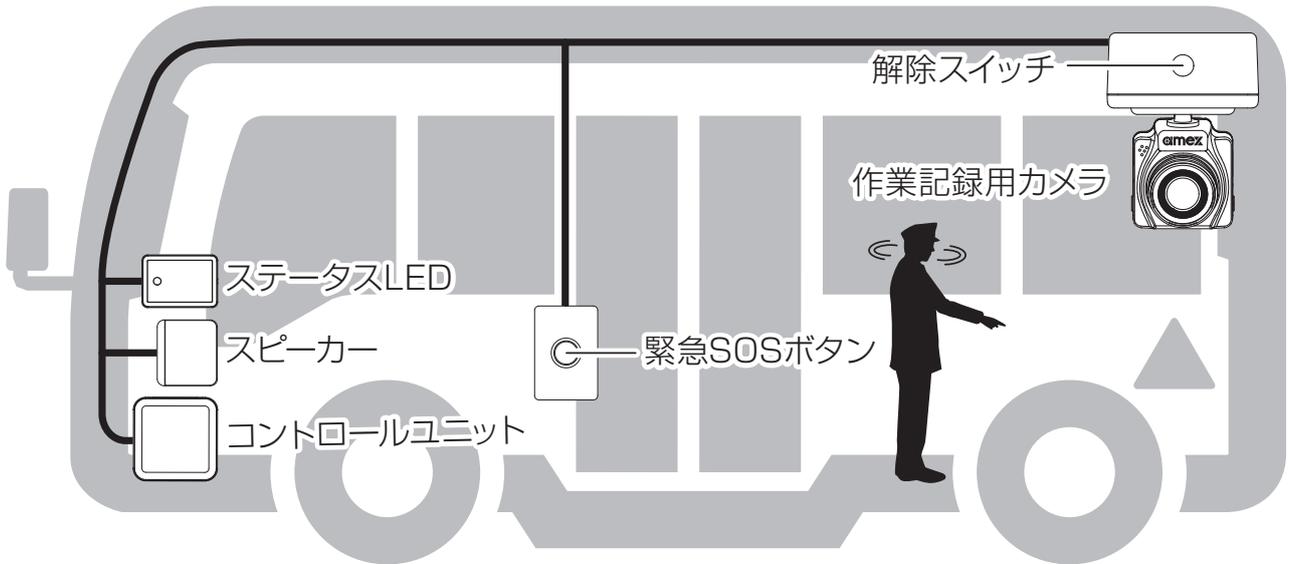
※車種・年式・グレード・装備などにより異なる。

注意事項

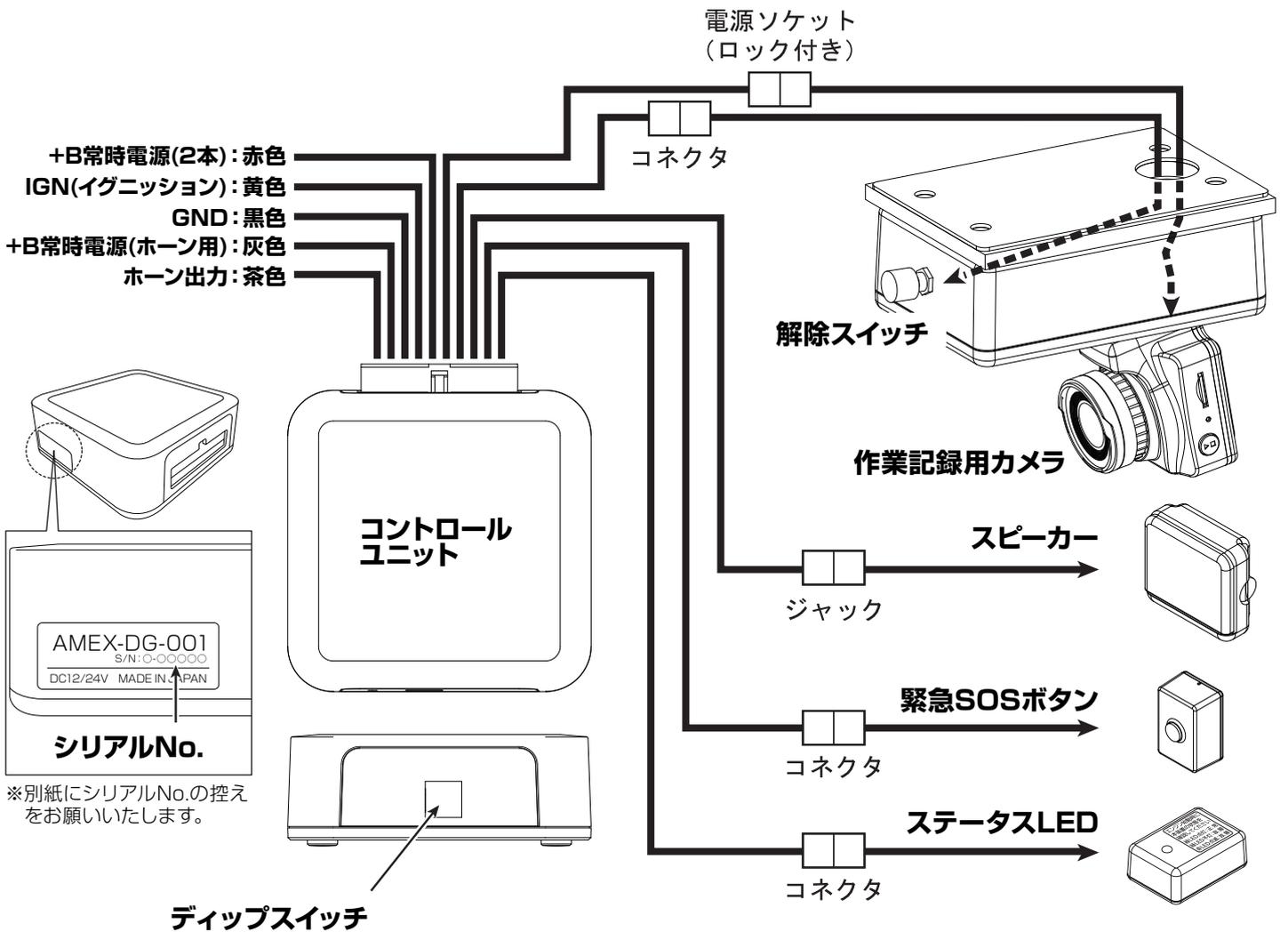
作業を始める前に以下の注意事項をよくお読みいただき、正しく取り付けを行ってください。

- 本機はバッテリー電圧12V用と24V用の車両に取り付けることができます。
- 取り付け作業中は、車両バッテリーのマイナス端子を外して行ってください。
エアバック付きの車両は、車両メーカーの整備要領書の指示に従ってください。
- 車両側周辺部品（特に裏側にある部品）の位置を確認の上、ドリルの刃や取り付け用のネジ等が干渉しないように注意して行ってください。
ドリル加工時は、保護メガネを着用して作業を行ってください。
- 部品の取り付けや取り外した車両部品を取り付ける際は、配線を引っ掛けたり、挟み込まないでください。
- 部品の取り付けをする際は、直接日光が当たらず、水がかからない位置に取り付けてください。
- ハーネス配策は、ハーネスバンド等を使用して、車両側周辺部品との干渉等がないよう固定してください。また、余分なハーネスバンドは切り取ってください。
(特に走行・制動に関係する機器等に干渉すると危険です)
- 車両部品を取り外す場合や復元する場合は、車両メーカーの整備要領書を参照して作業してください。
- 車両から取り外したクリップ、ネジ等は、復元時に間違えないようにしてください。
- テープ及び両面テープ等で取り付ける箇所は、汚れ、油等を完全に除去してください。
- 車両にキズや汚れ等が付かないように、車室内には保護カバー等を使用して作業を行ってください。
- ハーネスを強く引っ張らないでください。
- コネクタを外す際は、ハーネスを引っ張らずコネクタ本体を持ってロックを外してください。
コネクタのロックは、ドライバー等でこじって破壊しないでください。
- 本機のハーネスにあるアース端子を車両アース端子へ共締めする際は、ボルト、車両アース端子、本機アース端子、ボディパネルの順に取り付けを行ってください。
- ハーネス配策後、修復前に取り付けした部品の作動チェックを行ってください。
誤配線の防止になります。
- 製品の汚れは、スポンジ等に中性洗剤を付けて落としてください。
シンナー等の有機洗剤、アルカリ等の使用は絶対に避けてください。
- 配線の接続は確実に行ってください。コネクタからカチッと音がすることを確認した後、目視でロックがかかったことを確認し、軽くハーネスを引いてコネクタが抜けないことを確認してください。
- 本機取り付け後、各車両電装品が正常に作動するか確認を行ってください。
- ダクト周りなど結露の可能性がある場所、湿度の高い場所にコネクタ等接続部を配策する場合は、接続部に同梱の自己融着テープを隙間なく巻きつけその上からビニールテープを巻きつけてください。

各装置想定配置図



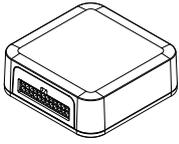
結線図



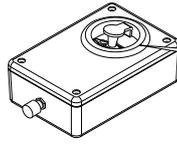
ケーブル全長: 約12m
(緊急SOSボタン: コントロールユニットより約6m)

構成部品

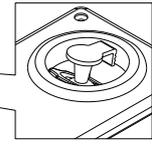
① コントロールユニット



② 解除スイッチ



③ カメラ固定用ブラケット



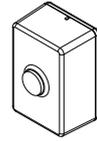
④ 作業記録用カメラ
(microSDカード8GB実装済)



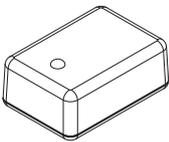
⑤ スピーカー



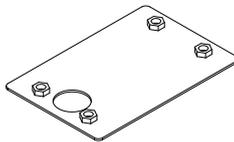
⑥ 緊急SOSボタン



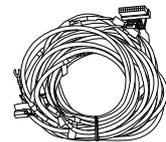
⑦ ステータスLED



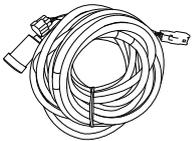
⑧ ブラケット
(②解除スイッチ固定用)



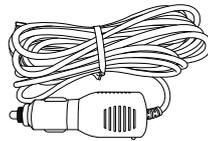
⑨ ハーネスA
(コントロールユニット側)



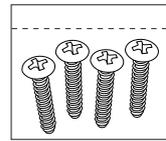
⑩ ハーネスB
(解除スイッチ側)



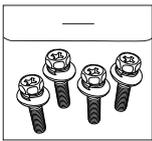
⑪ カメラ用ハーネス
(シガーソケット付)



⑫ タッピングスクリュー:4本



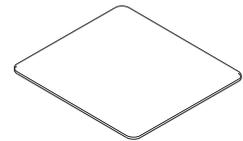
⑬ ねじ:4本



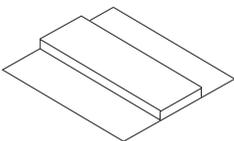
⑭ 注意書きシール



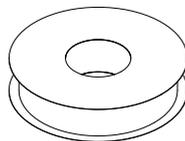
⑮ 防塵テープ



⑯ 両面テープ:6個



⑰ 自己融着テープ



⑱ 取扱説明書



⑲ 取付要領書(型紙付き) ※本書



⑳ 施工完了書 兼 報告書 ※別紙



お願い

本装置を取り付ける際の結束バンドや追加の両面テープ等は必要に応じてご用意ください。

取付要領

● 事前準備

- 1) 作業前に本書で記載されている構成部品が全点そろっていることを確認してください。
- 2) 車両バッテリーのマイナス端子を外してください。

⚠ 注意

車両バッテリーの端子を脱着する際は、車両メーカーの整備解説書を確認して作業を行ってください。

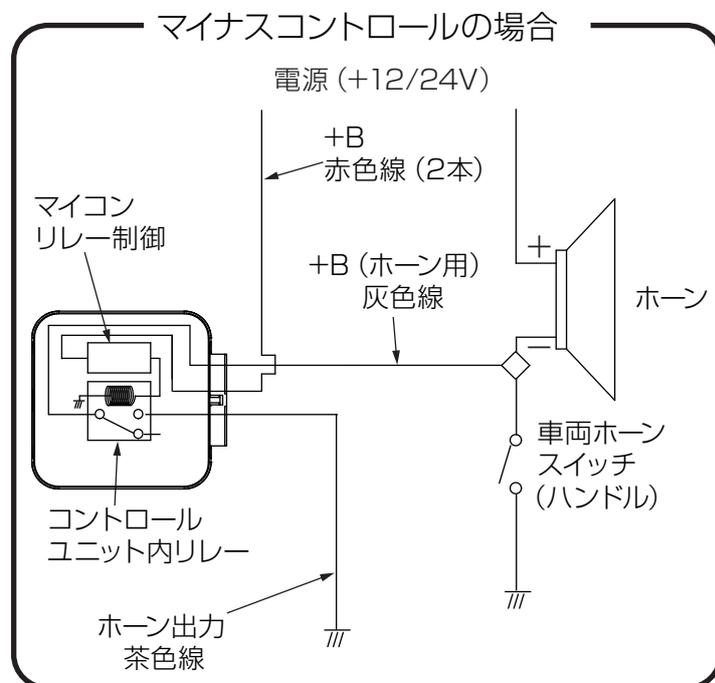
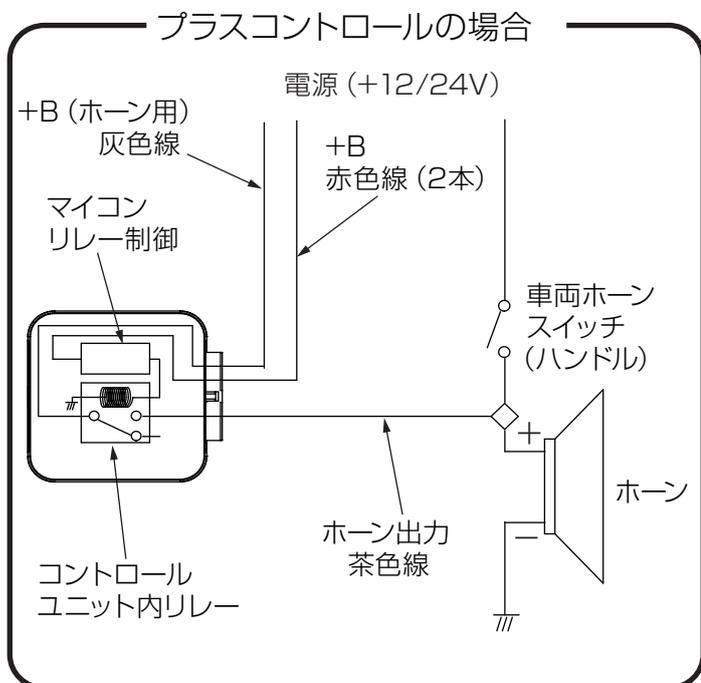
- 3) ①コントロールユニット裏面に⑩両面テープ2枚を貼り付け、ヒューズボックス脇や助手席のシート下等の直接日光が当たらず、水がかからない目立たない場所に①コントロールユニットを設置してください。
- 4) ①コントロールユニットに⑨ハーネスAの24極メスコネクタを接続してください。

⚠ 注意

コネクタは確実に接続してください。目視でロックがかかったことを確認してください。

● 配線について

- 1) ⑨ハーネスAのアース端子(黒色線)を車両ボディにあるボルトに割り込んで設置してください。
- 2) ⑨ハーネスAの赤色線2本を車両ヒューズボックス等にある+B信号に割り込み接続してください。その際、2本の割り込み先は別けるようにしてください。
- 3) ⑨ハーネスAの黄色線を車両ヒューズボックス等にあるイグニッション信号に割り込み接続してください。
- 4) ⑨ハーネスAの灰色線：
 - ・車両ホーンがプラスコントロールの場合、車両バッテリーのプラス側に接続。
 - ・車両ホーンがマイナスコントロールの場合、車両ホーンのマイナス側に割り込んで接続。
- 5) ⑨ハーネスAの茶色線：
 - ・車両ホーンがプラスコントロールの場合、車両ホーンのプラス側に割り込んで接続。
 - ・車両ホーンがマイナスコントロールの場合、車両ボディにあるボルトに割り込んで設置。



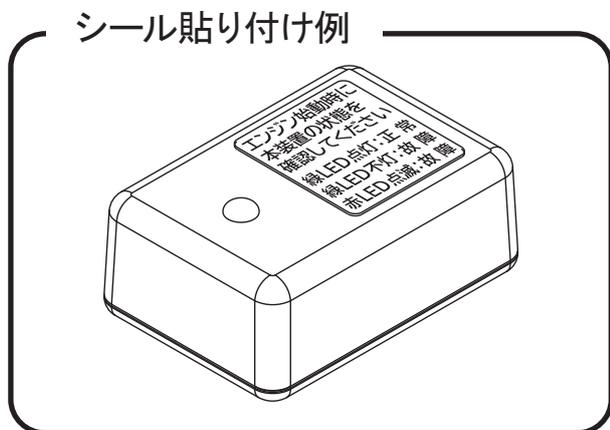
※誤配線は故障の原因となり得ますので、上図に従い適切な接続にて取付けを行ってください。

● スピーカーの設置

- ⑤スピーカー裏面に⑩両面テープ1枚を貼り付け、ヒューズボックス脇や助手席のシート下等の直接日光が当たらない、水がかからない場所に⑤スピーカーを設置してください。
- ⑤スピーカーのジャックを⑨ハーネスAのメスジャックに接続してください。接続後、防水の為⑰自己融着テープを接続部全体を覆うよう隙間無く巻きつけ、同様に上からビニールテープを巻きつけてください。

● ステータスLEDの設置

- ⑦ステータスLED裏面に⑩両面テープ1枚を貼り付け、直接日光が当たらない、運転席と後方席から見やすい場所に⑦ステータスLEDを設置してください。
- 設置した⑦ステータスLEDに文字が読みやすい向きで⑭注意書きシールを張り付けてください。



取り付けイメージ



- ⑦ステータスLEDの3極コネクタと⑨ハーネスAの3極コネクタを接続してください。

● 緊急SOSボタンの設置

- 1) ⑨ハーネスAの4極メスコネクタと⑩ハーネスBの4極オスコネクタを接続してください。
- 2) ⑥緊急SOSボタン裏面に⑩両面テープ2枚を貼り付け、直接日光が当たらない、水がかからなく児童でも押せる位置に⑥緊急SOSボタンを設置してください。

取り付けイメージ

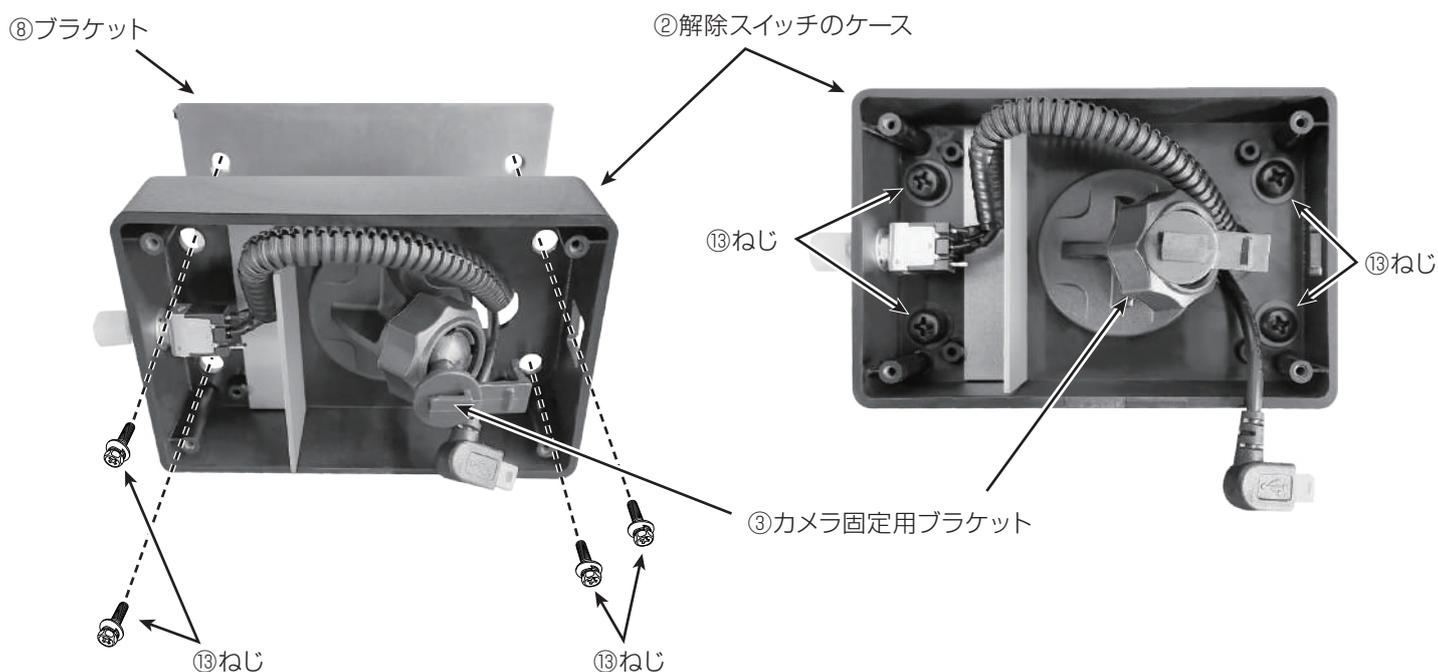


- 3) ⑥緊急SOSボタンの2極コネクタと⑩ハーネスBの2極コネクタを接続してください。

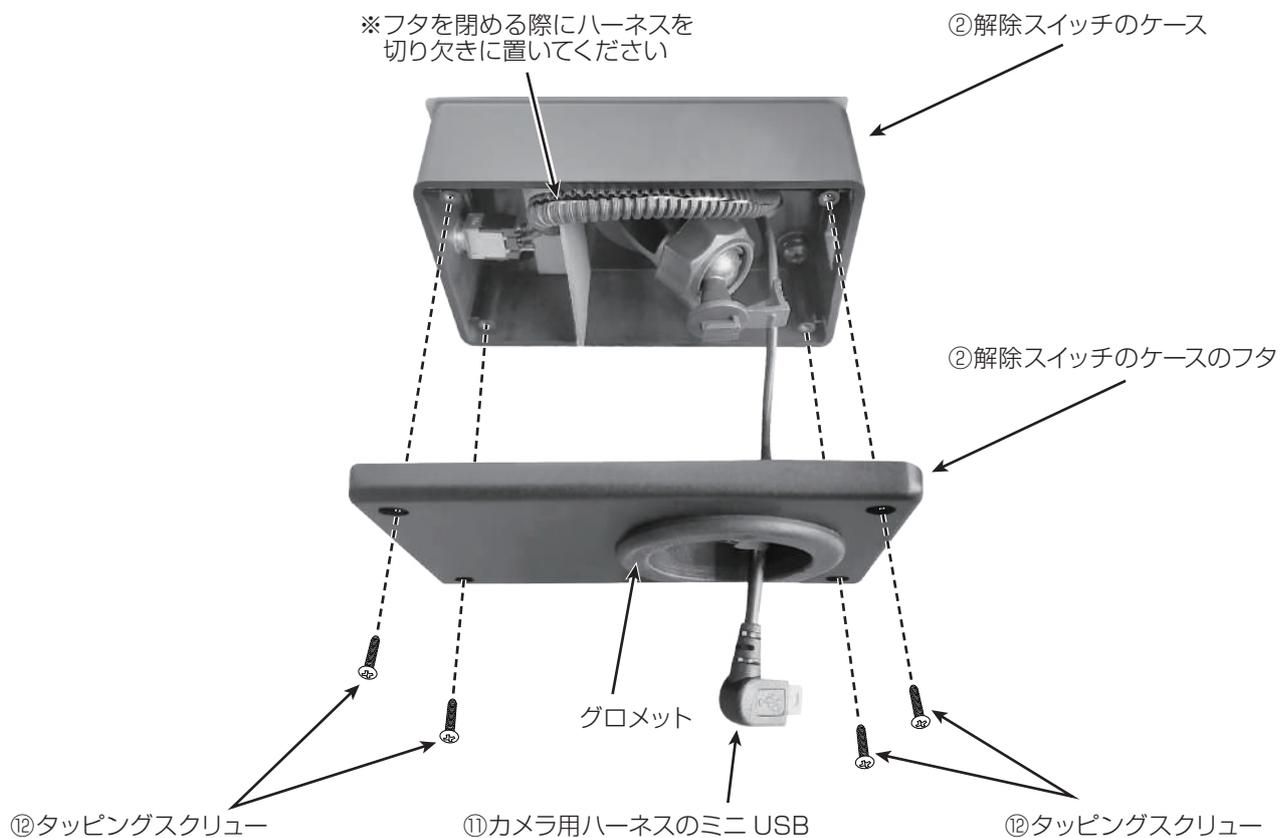
● 解除スイッチ及び作業記録用カメラの設置

- 1) 本書の最後のページにある型紙を切り取ってください。
- 2) 切り取った型紙を②解除スイッチを設置する想定位置(車両後方の天井)に貼り付けてください。貼り付けた後、型紙にある穴位置にポンチやマジックペン等で車両側に印をつけてください。
- 3) 印をつけた箇所にドリルで車両側に穴を開けてください(φ22:1箇所、φ7:4箇所)。穴を開ける際、一度で開けるのではなく、小さい径のドリルから段階的に開けてください。
- 4) 穴を開けた車両天井裏に穴位置が合うよう⑧ブラケットを置いてください。
- 5) ⑪カメラ用ハーネスのオスシガーソケットと⑩ハーネスBのメスシガーソケットを接続してください。
接続後、防水の為⑬自己融着テープを接続部全体を覆うよう隙間無く巻きつけ、同様に上からビニールテープを巻きつけてください。
- 6) ②解除スイッチのケースのフタを外してください。
- 7) ⑪カメラ用ハーネスのミニUSB側を車両天井裏に配策し、⑧ブラケットの穴と車両天井に開けたφ22の穴に通してください。
その後、②解除スイッチの穴に通してください。
※②解除スイッチのハーネスを一度ケースの穴から外しておくとお通しやすいです。
- 8) ②解除スイッチのハーネスを車両天井のφ22の穴とブラケットの穴に通し、車両天井裏から⑩ハーネスBの2極コネクタまで這わしてください。

- 9) ②解除スイッチの2極オスコネクタと⑩ハーネスBの2極メスコネクタを接続してください。
- 10) ⑬ねじ4本をケース内の穴と車両天井に開けた穴に通し、⑧ブラケットに②解除スイッチを固定してください。

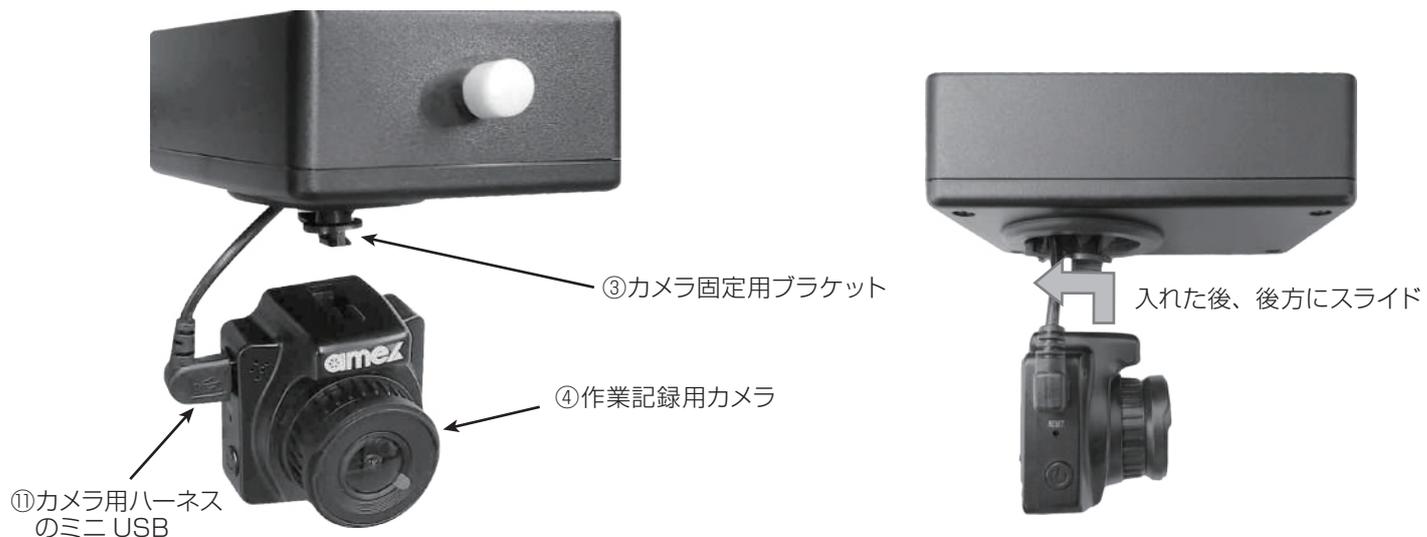


- 11) ②解除スイッチのケースのフタにあるグロメット部に⑪カメラ用ハーネスのミニUSBを通し、③カメラ固定用ブラケットの角度を調整し適切な位置で固定ナットを締めてください。その後、②解除スイッチのケースのフタを閉めて、⑫タッピングスクリュー4本で②解除スイッチのケースのフタを固定してください。



12) ④作業記録用カメラに⑪カメラ用ハーネスのミニUSBを挿し込んでください。

13) ④作業記録用カメラを③カメラ固定用ブラケットに取り付けてください。その際、④作業記録用カメラの上部のくぼみに③カメラ固定用ブラケットを入れた後、④作業記録用カメラを後方にスライドさせてロックしてください。



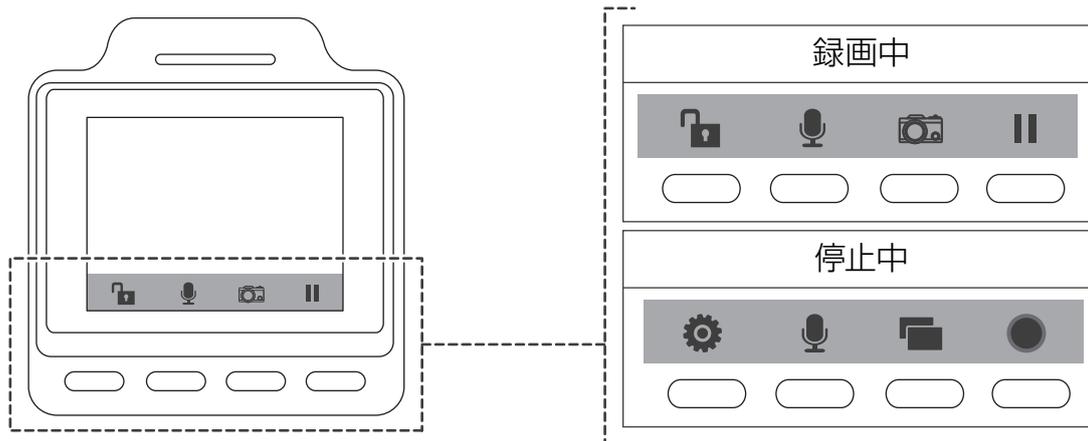
14) 配策したハーネス類の余長分を束ねてハーネスバンド等で固定してください。

取り付けイメージ



15) 以下の手順で、④作業記録用カメラの日付と時刻を設定してください。

● 操作ボタン / アイコン表示



● 操作ボタン / 各働き

	電源ボタン (側面に配置)	通電時、長押しすることで手で電源ON・OFFが可能です。 録画中に一度押すと画面が消灯し、もう一度押すと点灯します。
	システム設定	各種設定画面を表示します。
	音声録画ON・OFF	録画モード中に押すと、音声録画のON・OFF切り替えが可能です。
	再生モード	録画したファイルを再生します。
	強制保護	別フォルダで映像を保護します。 ※上書きされません。
	静止画撮影	静止画 (キャプチャー) を撮影できます。 ※録画を停止せず録画中に撮影可能です。
	録画再生 / 録画停止	録画開始、録画停止。
	録画ボタン (側面に配置)	録画開始、録画停止。
	選択ボタン	戻る、確認・実行、左選択、右選択、上選択、下選択。 (左記アイコン：左上からZ字順)

● 日付と時刻の設定方法

- ① 録画停止ボタンを押し、録画を停止させます。
- ② システム設定ボタンを押し、基本設定を選択してください。
- ③ 日付 / 時刻を選択してください。
- ④ 西暦 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒 の順番で設定してください。

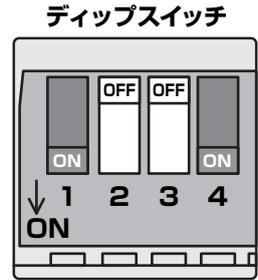


※バッテリーの放電により日付と時刻が初期化されてしまった場合、この操作を行ってください。

作動確認

1. 作動確認の準備

- 1) 全ての①コントロールユニットのディップスイッチがOFF（上位置）になっていることを確認し、ディップスイッチ1と4のみONにしてください（経過時間を短縮する作動確認モードへ）。
- 2) 車両バッテリーを接続してください。
- 3) イグニッションスイッチをONにしてください。



2. 点検モード 作動確認

No.	確認事項	正常動作	チェック
A	イグニッションスイッチをONにする	・ステータスLEDが緑色に点灯する ※異常がない診断	<input type="checkbox"/>
B	イグニッションスイッチをOFFにして解除スイッチを押しながらイグニッションスイッチをONにする	・ステータスLEDが赤色に点滅する ※解除スイッチが固着又は断線している診断(想定)	<input type="checkbox"/>

※正常に動作しない場合は再度配線が正常に接続されているか確認してください。

3. 確認支援モード 作動確認

No.	確認事項	正常動作	チェック
A	イグニッションスイッチをOFFにする	・解除スイッチを促すガイダンスが流れる ・作業記録用カメラが録画を開始する	<input type="checkbox"/>
B	解除スイッチを押す	・緊急SOSボタンを促すガイダンスが流れる ・作業記録用カメラが9秒後に停止する ※通常は90秒後に停止する	<input type="checkbox"/>
C	緊急SOSボタンを押す	・ガイダンスが停止する ・ステータスLEDが橙色に点灯する	<input type="checkbox"/>
D	緊急SOSボタンを押してから18秒経過 ※通常は3分経過後	・ステータスLEDが橙色に点滅する ※監視モードに移行する	<input type="checkbox"/>

※スピーカーから流れるガイダンスの音量が小さいと感じた場合はコントロールユニットのディップスイッチ4をOFFにしてください。

※正常に動作しない場合は再度配線が正常に接続されているか確認してください。

4. 監視モード 作動確認

No.	確認事項	正常動作	チェック
A	確認支援モード「D」から2分経過 ※通常は12時間経過後	・ステータスLEDが消灯する ※監視モード終了し装置電源OFF	<input type="checkbox"/>
B	確認支援モード「D」から2分以内に緊急SOSボタンを押す(異常時を想定) ※通常は12時間経過後	・車両ホーンが鳴り続ける ・解除スイッチを押すと車両ホーンが停止し確認支援モード「D」に戻る あるいはイグニッションスイッチをON	<input type="checkbox"/>
C	確認支援モード「A」から45秒経過(解除スイッチを押さなかった場合を想定) ※通常は15分経過後	・車両ホーンが鳴り続ける ・解除スイッチを押すと車両ホーンが停止し確認支援モード「A」に戻る あるいはイグニッションスイッチをON	<input type="checkbox"/>
D	確認支援モード「B」から45秒経過(緊急SOSボタンを押さなかった場合を想定) ※通常は15分経過後	・車両ホーンが鳴り続ける ・解除スイッチを押すと車両ホーンが停止し確認支援モード「A」に戻る あるいはイグニッションスイッチをON	<input type="checkbox"/>

※正常に動作しない場合は再度配線が正常に接続されているか確認してください。

部品の復元

- 1) ①コントロールユニットのディップスイッチ1をOFFにしてください
(作動確認モード解除の為)。
- 2) 本装置を取り付ける際に取り外した車両部品を復元してください。
- 3) 各車両電装品が正常に作動することを確認してください。
- 4) ラジオ、時計、オーディオ等電装品のメモリーを復元してください。

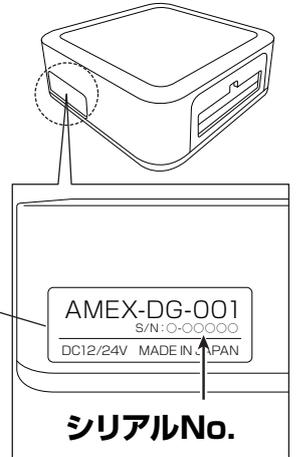
No.	確認事項	正常動作	チェック
A	灯火部品類の点灯確認	動作通りに点灯する	<input type="checkbox"/>
B	電装部品の作動チェック	各部位の機能が正常に作動する	<input type="checkbox"/>
C	復元した部品の装着状態	浮きや隙がない	<input type="checkbox"/>
D	ディップスイッチ1の確認	OFFになっていること	<input type="checkbox"/>

- 5) ①コントロールユニットのディップスイッチをふさぐように⑮防塵テープを貼りつけてください。

施工完了書 兼 報告書 (別紙)

- 1) 取り付け完了時に、必ず施工完了書 兼 報告書 (別紙) のご記入とご説明を事業者様 (ユーザー) へお願いします。

コントロールユニット



セーフティーアラーム 施工完了書 兼 報告書

株式会社青木製作所 行
ご記入日: 年 月 日
(メーカー受付日: 年 月 日)

本書は、工事完了後、事業者様に動作確認並びに以下の重要情報をご説明頂く過程で取付店様主導にて記載をお願いいたします。

基本 情報	取付年月日 年 月 日	車向名	登録車番
	年式	型式	製品シリアルナンバー
事業者名 (園名)	店名 (担当者:)		代理店/取付店 (担当者:)
	住所		住所
	TEL FAX	Mail	TEL FAX Mail

以下、安定した運用のため事業者様へ必ずご説明ください。

- 1 本機は、ヒューマンエラーによる置き去り防止をするうえでの補助的な役割を果たすもので、車内置き去りを完全に防止することはできません。
- 2 動作環境温度は-30℃~65℃であり、この範囲を超える場合は正常に動作しない可能性があります。
- 3 本機は、検知可能な故障範囲が定められており、装置の異常有無はスタータスLEDにより日常的に状態をご確認ください。
- 4 取付完了後、取扱説明書記載の使用手順にない動作確認を一緒に行ってください。
- 5 保証期間は、取付完了日より1年間。本製品で異常が生じた際はご購入店 (代理店/取付店) へお問い合わせください。
- 6 本機の警報の有無にかかわらず、車内置き去りを含む一切の交通事故の責は、本製品に帰さないものとします。

日付	お客様 (お名前)	取付担当者名 (お名前)
年 月 日	印	印

(↑お客様にてご記入をお願いします↑)

サンプル

※事業者様 (ユーザー) へ

この度は、当社製品をご導入頂きまして、誠にありがとうございます。
本紙を、メーカーにて受領後、「複写」をメールまたはFAXにて送付させていただきます。保証書と併せて大切に保管願います。
製品を安心してご使用頂くため、重要なお知らせやオプション、アフターサービスに係わるご案内につきまして、メールやFAX、ホームページ等において適宜情報発信させていただきます。
ご記載の個人情報等の取り扱いについては、弊社プライバシーポリシーに沿って厳重に管理させていただきます。

プライバシーポリシー (詳細はこちら) ⇒

※代理店/取付店様へ

取付完了時に、必ず上記のご記入とご説明を事業者様 (ユーザー) へお願い致します。
また大変恐れ入りますが、取付完了日を含む3営業日以内に、本書をメールまたはFAXにて送付願います。

【メーカー (青木製作所) 窓口】
メール : info@aokiss.co.jp
FAX : 027-347-3521

ver.1

- 2) また大変恐れ入りますが、取り付け完了日を含む3営業日以内に、本書をメールまたはFAXにて送付してください。

穴あけ用型紙

※穴あけ作業時には、必ず「取付要領書」の指示にしたがって作業してください。

キリトリ線

